

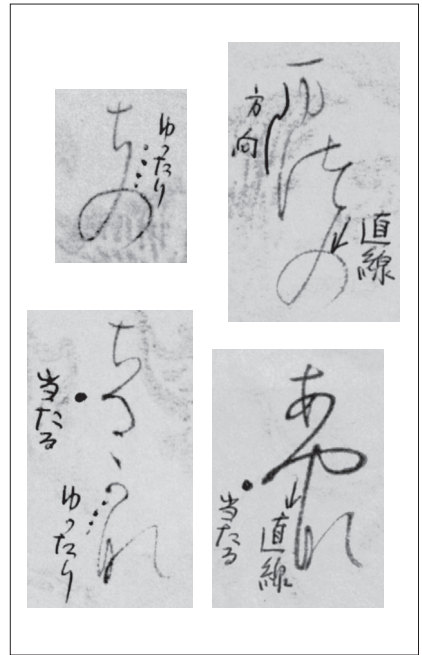
◆半紙二行たて書きに臨書して下さい。出品料440円

第五回

- 1、字句「万徒の あや那 ちの ちる 可那」
- 2、形式「半紙をたてに使い、大筆で二行に臨書する。一行目「万徒の あや那」、二行目「ちの ちる 可那」とする。落款は左余白に全体のバランスを考えて「○○臨」と入れる。
- 3、概観「仮名の美しさの一つは、何と言っても連綿の妙にあります。連綿は二文字又はそれ以上の文字を続けて書く時の書き方で、文字と文字とをつなぐために、文字と文字との間に生まれる線のことを連綿線と呼びます。この時、文字と文字とが①緊張感をもってつながっていること②動きのあるつながり方をしていること、などが大切で、ただ無意味につなげる(連綿線を作る)ことは害になると言われています。古筆に見られる連綿線を、臨書を通してじっくり見つけてみましょう。
- 4、学習のポイント：連綿を学ぶ(へその一)

◎大きく書いて、収筆から次の文字の一筆目へ連綿する呼吸を感じてみる。

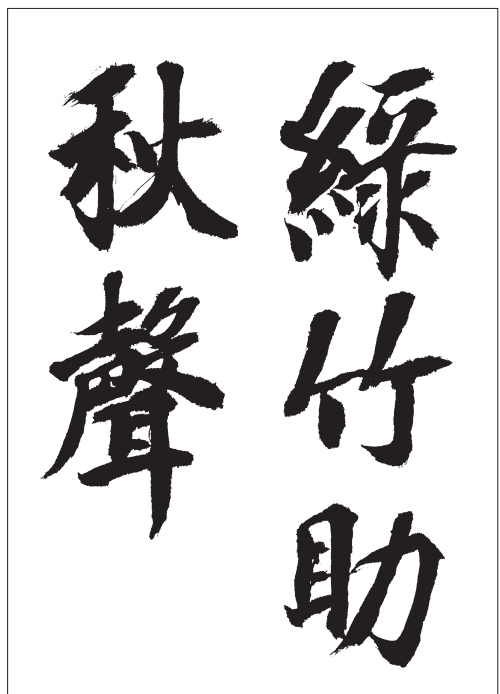
『万徒の』『万』の収筆をゆっくり運び、方向を変えて「徒」の一筆目に。「徒」の収筆から一気に直線で「の」に連綿。『あや那』『あ』の収筆の力をゆるめずに、「や」に向かい、一たん止まって(当たって)横へ運ぶ。『や』の収筆は一気に直線で「那」の一筆目に連綿。『ちの』『ち』の収筆をゆったりと運び、そのまま「の」に連綿。『ちる』『ち』の収筆で当たって横へ運び「る」に連綿。『可那』『可』の収筆をゆったりと下方に運び「那」の一筆目に連綿。



ぎよぶつ 御物と漢朗詠集

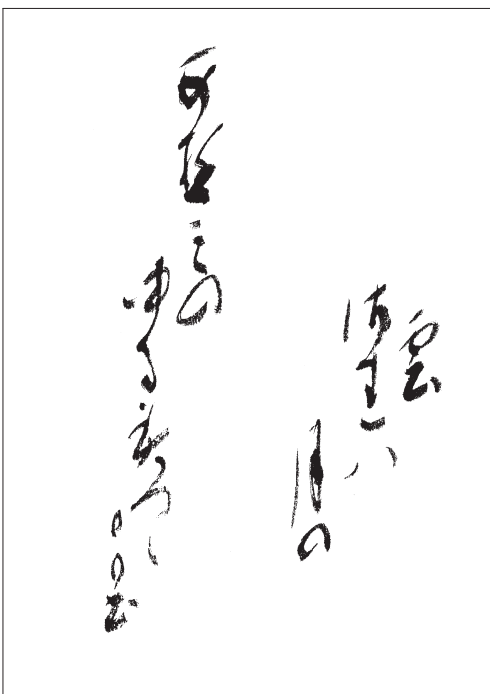
昇試第三部 (漢字・かな) (予告) (九月二十二日締切)

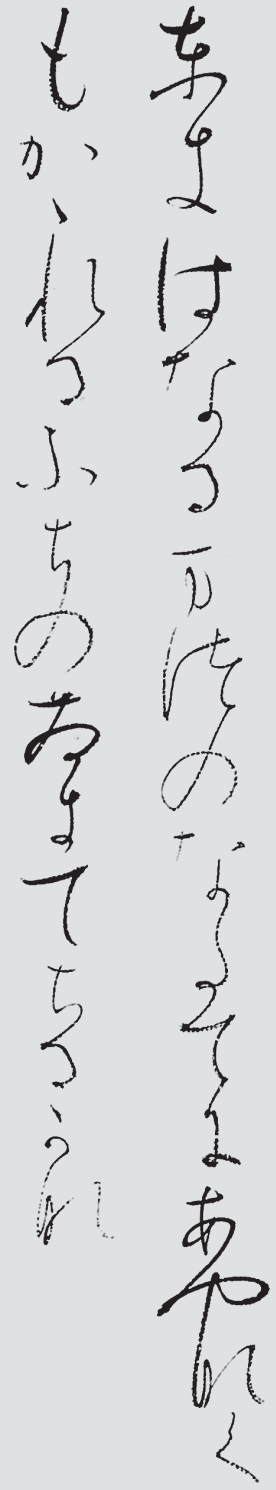
平岡華雪先生書 緑竹秋声を助く(李白)



訳：緑の竹が秋風の音をたすけているようだ。

平岡華雪先生書 雲去れば月の歩みのゆるみつゝ(たかし)





あまはけるる万徒のなまそよあやめく
しかねるふちのあまてちるるれ

条幅随意部として

『東支はなる万徒のな多て尔あや那くもかゝれるふちの散支てちる可那』

と、特に連綿の呼吸に注意して、半切二行に臨書する。

落款は全体の調和を考えて位置と大きさを決め「○○臨」と入れる。

※随意部参考（半紙・条幅）としてもご利用下さい。抜粋可。

条幅部は一枚目無料、二枚目から五五〇円。

バーコード券に「条臨」とご記入下さい。名簿は条幅部で「(臨)」と表示されます。

一字書（八月二十二日締切）

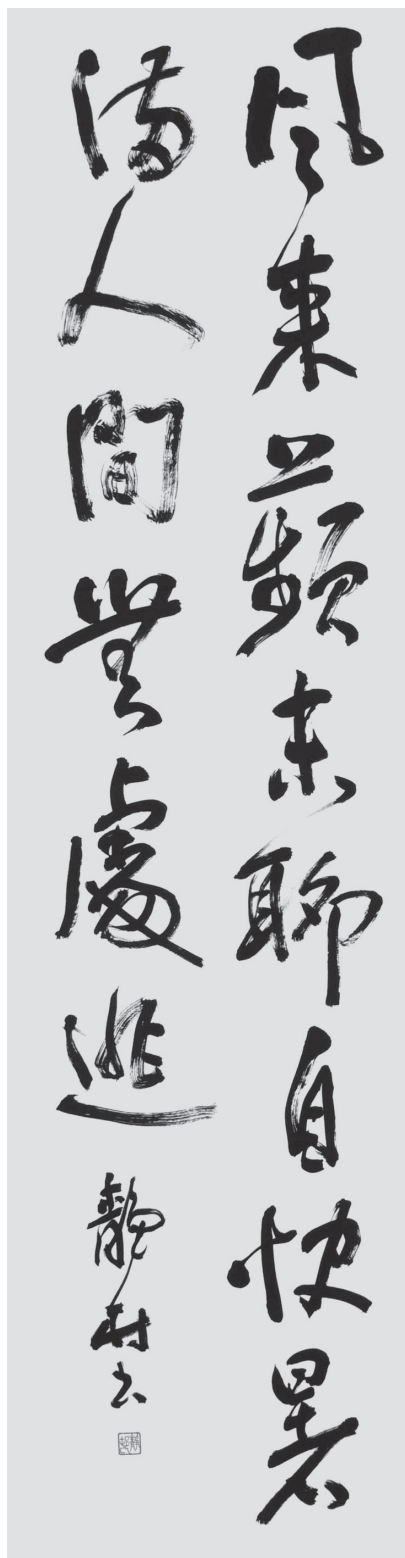
課題

瞬

- (1) 書体自由
- (2) 半紙タテ ※ヨコは中止
- (3) 落款は余白に調和を工夫し書き入れる
- (4) 出品料 四四〇円
- (5) バーコード券貼付 太枠内の臨昇の隣の空欄に
一字と記入 段級は無記入

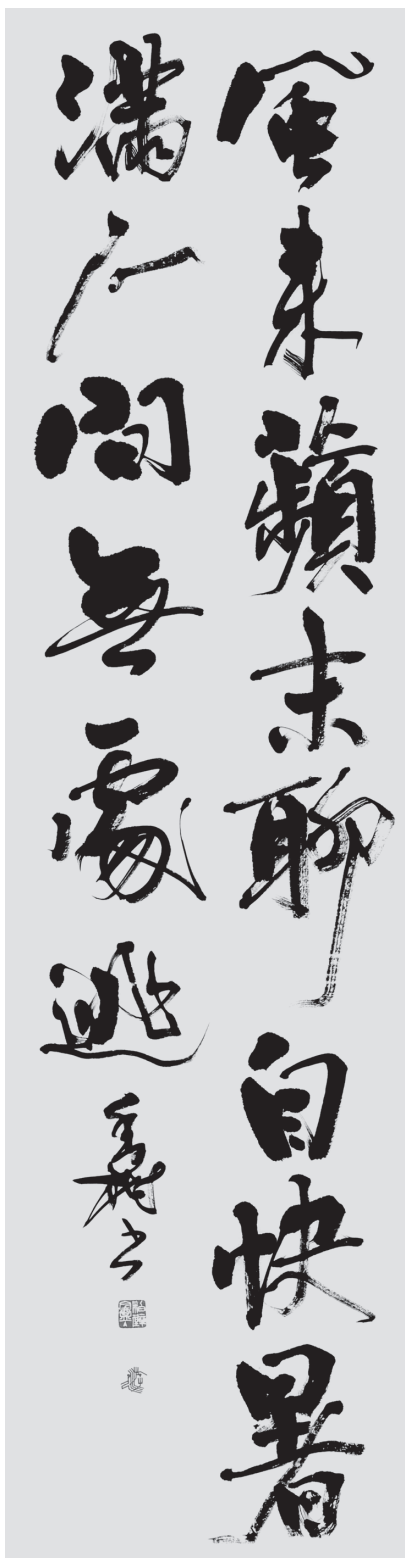
A
鈴木静村先生書

風來蘋末聊自快 暑滿人間無處逃 (龐鑄)
風は蘋末に來りて聊か自ら快とす、暑は人間に満ちて逃るる処無し。



B
高橋香樹会长書

渴筆線中の適所に、墨の表われを。この場合、渴筆の用筆では速度の弛め加減は当然。さらに入筆での「突き筆」、脈絡での「受け筆」、転折・屈曲の場合の「捻筆」、筆等を活かし用筆するという基本の手法に習熟することを望みたい。末「書譜」から拝借。自無墨継ぎ、快。左点は離す。間墨の表出に工夫を。逃之繞をのびやかに。



行書単体による作。今回は、強弱(太細)を強調する作としました。太線は短い線、細線は長い線で書くのが一般的だと思います。そう考えると、曲線は長くなる為細い線で書いた方がいいかと思います。「快」は、旁は篆隸を見ればみなこの形。行書もこの形多い。墨継ぎは「自」と「間」。

訳：微風は浮草の葉末におとずれて少しは心をよくするも、酷暑はこの世に満ちて避ける地もない。

予告 昇試第一部漢字(九月二十二日締切)

履穿過我柴門客

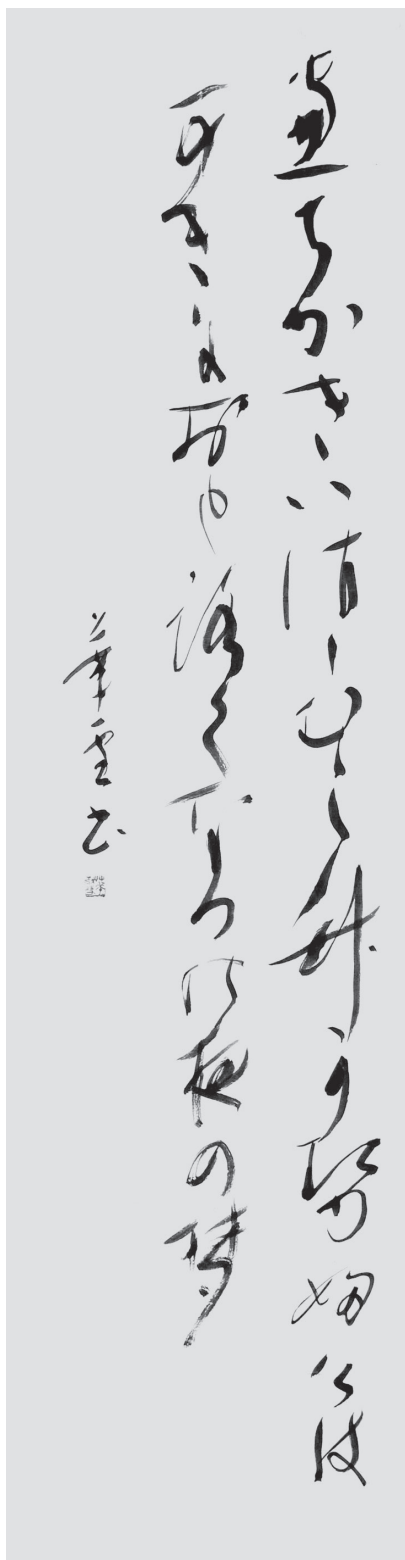
笠重歸來竹院僧(曾幾)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品(バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

A

平岡華雪先生書

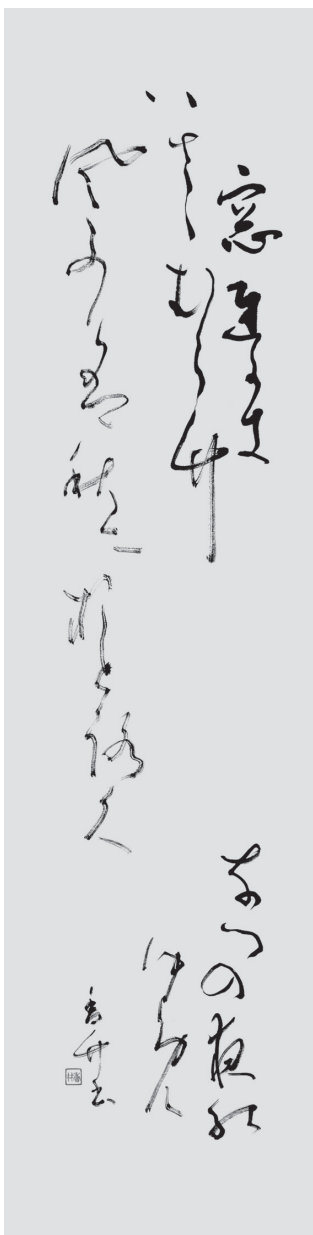
窓ちかきいさゝむら竹風ふけば秋におどろく夏の夜の夢(新古今和歌集 春宮大夫公継)
窓ちかきいさゝむら竹可勢婦介はあき尔おと路久なつ能夜の夢



B

青柳香竹先生書

窓遅可支いさゝむら竹風ふ介盤秋二於と路久奈つの夜能ゆめ



学び方

歌意：窓の傍のわずかな竹むらに風が吹くと、もう秋だと目が覚める、夏の夜のはかない夢よ。
今回は少し変わった二段書きにしてみました。字の大小・濃淡・潤濁の変化に気をくばり、奥行きを感じさせました、「いさゝむら…」は一行目に添えるように、「風ふ介盤」の三行目は、渴筆で少しのゆらぎも入れました。墨継ぎは「奈つ」でしたが、「ゆめ」は軽めに収めたいですね。二段書きは、紙面にきゅうくつになりますので、空間を意識して書き上げましょう。

本歌は「秋きぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞおどろかれぬる」。古今和歌集・秋上・藤原敏行作と同意。一二〇一年のもの。
新古今和歌集は、藤原定家らを撰者とした鎌倉時代の勅撰和歌集である。藤原公継(きんつぐ)は後徳大寺左大臣藤原実定の子。

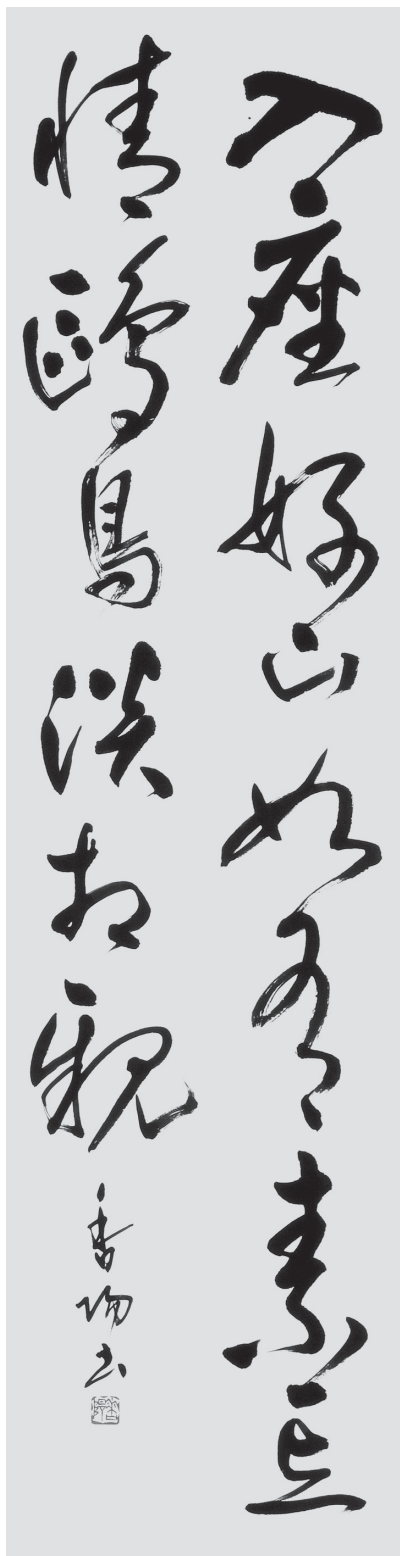
予告 昇試第一部かな(九月二十二日締切)

秋風にたなびく雲の絶え間よりもれいづる月のかげのさやけさ(新古今和歌集 左京大夫顕輔)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品(バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

福田香陽先生書

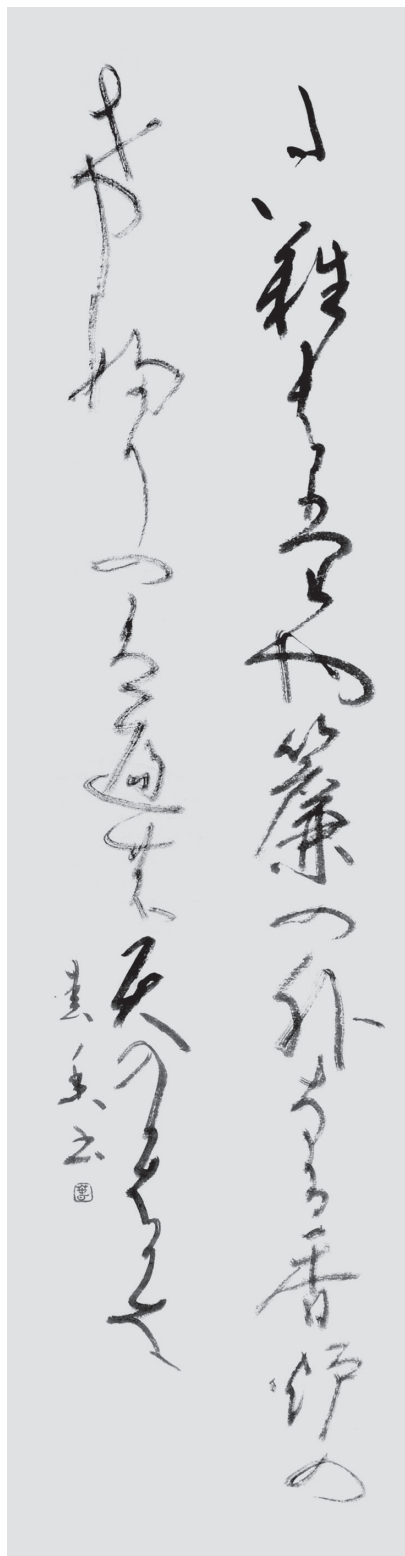
入座好山如有素 忘情鷗鳥淡相親（路鍾）
座に入る好山素有るが如く、情を忘るる鷗鳥淡相親しむ。



訳：座敷に入りくる山は旧友のようで、無邪気な白鷗は浮世をよそに見てなれしたしむ。

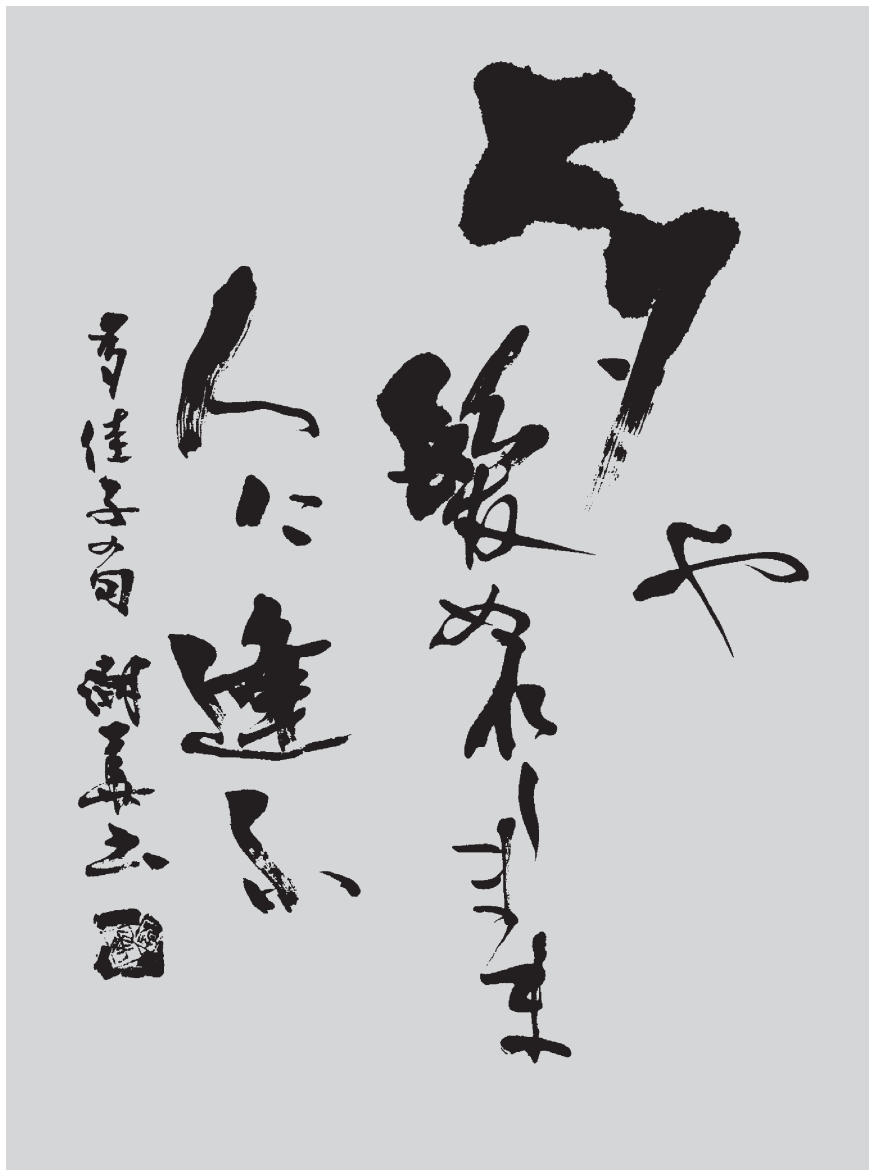
石原春香先生書

たなばたや簾の外なる香炉のけぶりのうへの天の河かな（与謝野晶子）
多難者堂や簾の外奈る香炉の希婦りの有遍農天の可者可奈



- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（1）と記入する。）
 - ・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料550円）

水貝 潮華 先生 書

七夕や髪ぬれしまま人に逢ふ
橋本多佳子

漢字かな交じりの書の作品づくりは、まず題材を選ぶことからはじまります。その題材に心引き付けられることが大切です。今月の課題は私が心を引き付けられた橋本多佳子の「七夕」の句を取り上げてみました。この句は、中国の七夕伝説に因んだ情緒あふれる句です。

漢字かな交じりの書は、「漢字」にアクセントを置くと表現しやすいので、「漢字の部分」に墨をタップリと、そして「仮名の部分」より少し大きめに書いています。また単調を避けるため、初句を紙面の中心から右への「流れ」をつくり、書き始めてみました。このように、「流れ」を配慮した作品作りを皆さんも考えてみましょう。この句から独自の作品を作り出して下さい。

橋本多佳子（一九一八
九一〜一九六三）
俳人。
東京生まれ。杉
田久女を知り作句。
『天の川』『破魔弓』
などに投句。山
口誓子に師事。
『馬酔木』、ついで
『天狼』同人。夫
と死別後、奈良で
西東三鬼らと奈良
俳句会を結成。句
集『海燕』『紅絲』
『命終』など。



◆注意…はじめて出品される方は私製の紙（3×4 cm位）に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。出品料550円。

①バーコード券右空欄に漢かと記入 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

平岡華雪先生書

夜涼清水の如く
訳：夜のすずしさは、すんだ水のようなだ。



〈京について〉
古字は  これが京となる。上部は高の省略した形。下部は  (丘) の省略。丘の上に、高くそびえる宮殿を京といった。京の意味には①おか②おおい③みやこがある。



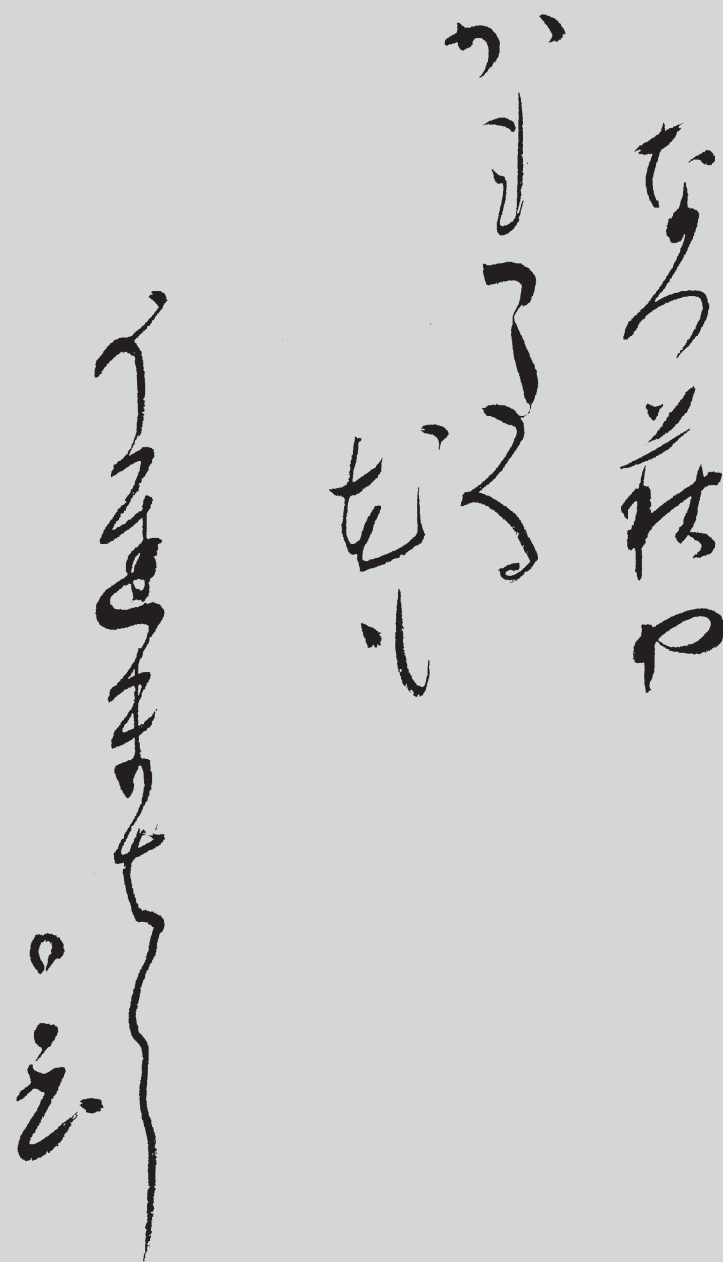
◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は460円。

- ①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

平岡華雪先生書

夏萩や枯れたる花もうちまぢり(素十)
なつ萩やか連多る花もう遅まぢり

〈単体から連綿の基礎〉
左群(下の句)の五字連綿は、初歩段階ではひと苦勞の部分。いつものように、単体練習が必須、次に速さによるリズムの習熟——。「う」の二画目、「遅」「ま」「ち」の一画目の受けピリッと。



予告 昇試第二部かな(九月二十二日締切)

虫はなほ我世となくに月かげのうすれながらものこるかぎり

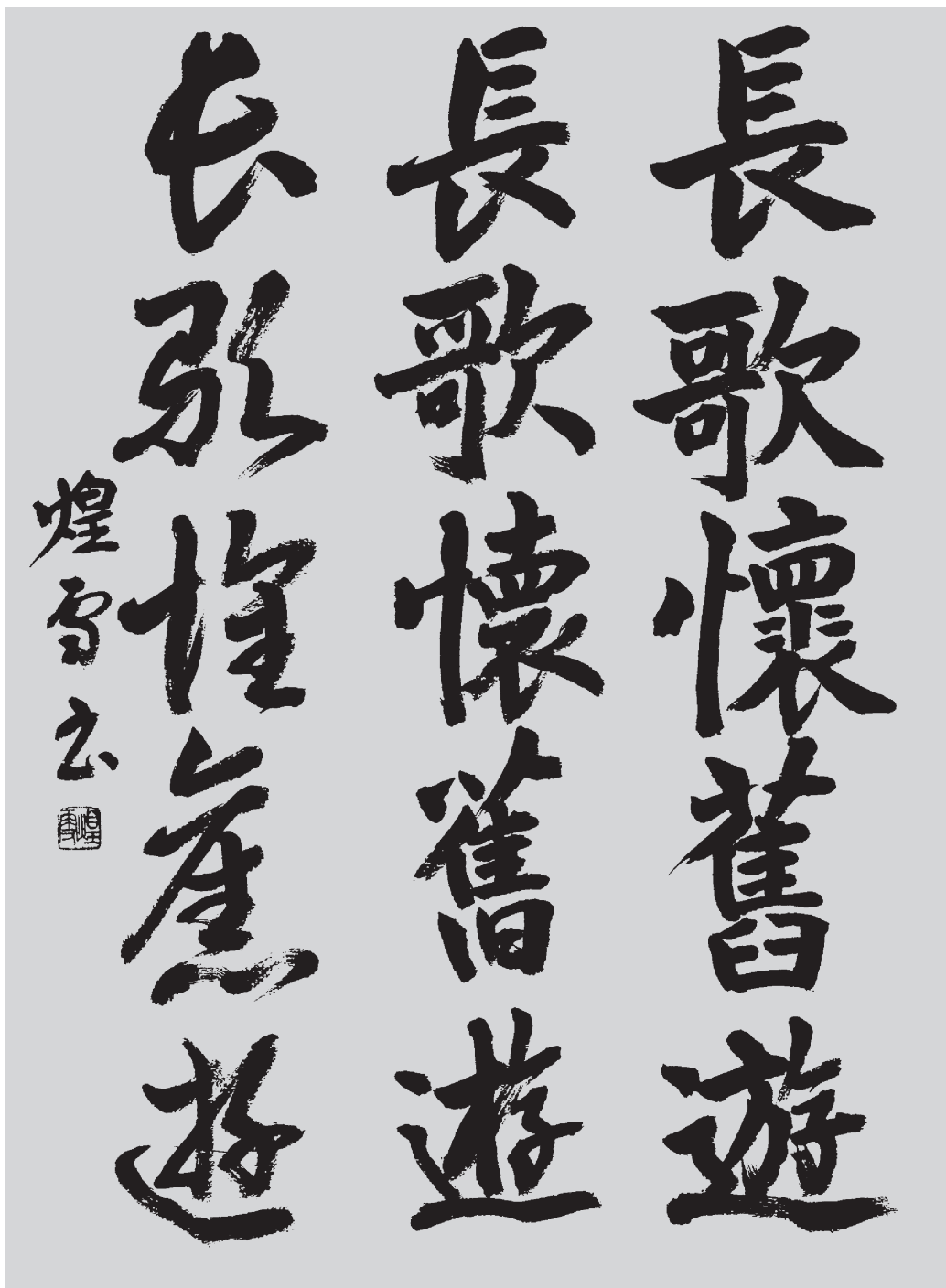
◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は460円。

- ①かな部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

星野煌雪先生書

長歌懷舊遊（李白）
長歌ちよつかして旧遊きゅうゆうを懷おもう

緩やかな調で歌いつつ、わたしは、在りし日の交友のさまをしのぶのだ。



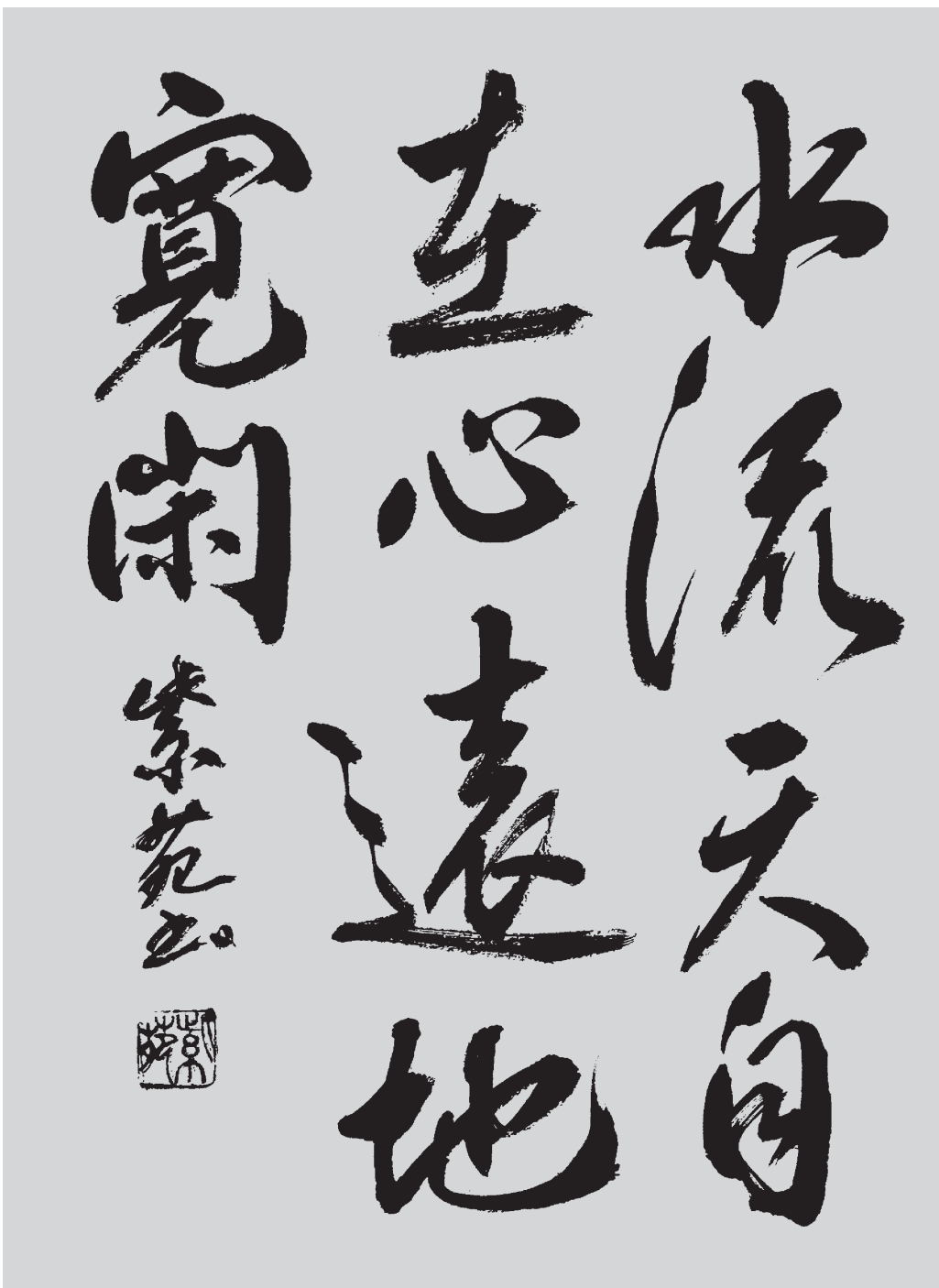
予告 昇試第二部漢字（九月二十二日締切）

窗竹夜鳴秋（李白）

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は460円。

山田紫苑先生書

水流天自在、心遠地寬閑（魏野）
みずなが てんじざい、こころとお ちかんかん
水流れ天自在、心遠く地寬閑。



訳：水は流れて天にまかせ、心は世俗から遠ざかって住居のこころも静閑である。

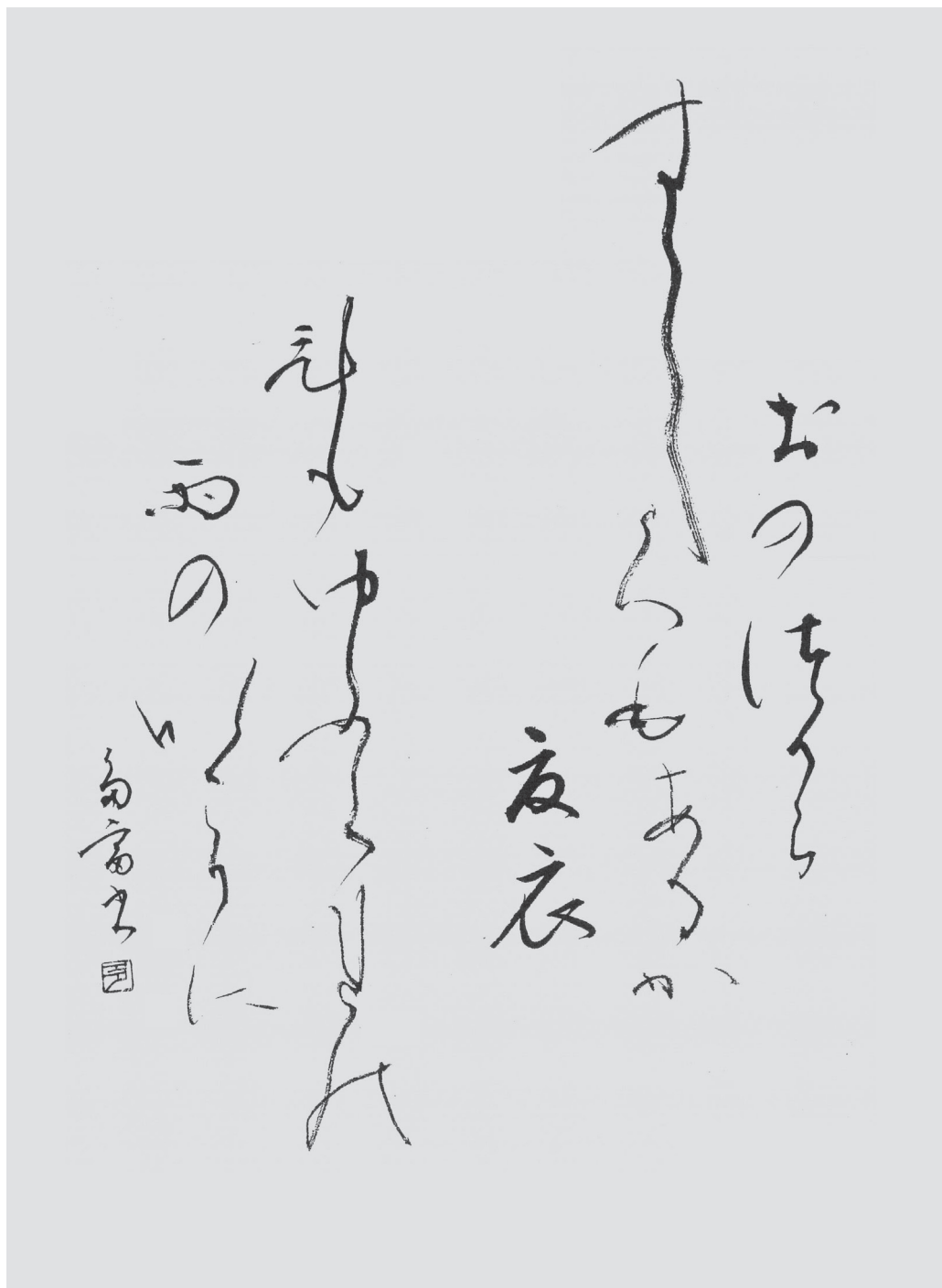
1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は460円

随 意 部 参 考

森
多
富
先
生
書

おのづからすゞしくもあるか夏衣日ひも夕暮ゆふぐれの雨あめのなごりに
おの徒可づからすゝし久毛くもあるか夏衣飛ひもゆふく連能れ雨あめの那なごりに

藤原清輔朝臣



1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は460円

湯澤春翠先生書

稲畑曄穂先生書

課題2 (初段格以下)

課題1 (初段以上)

成東の停車場をおりて、町形をした
家並みを出ると、なつかしい故郷の
村が目の前に見える。

蓼科山は俗に北ハツと称せられる連続の
一番北の端に、一きわ抜きん出ている峰で、
その余威は更に北に向き、次第に高さを
落としながら広大な裾野となる。

課題1 (初段以上)

蓼科山は俗に北ハツと称せられる連続の一番北の端に、一きわ抜きん出ている峰で、その余威は更に北に向けて、次第に高さを落としながら広大な裾野となる。

(深田久弥『日本百名山』)

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位) 次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (5) 会員は無料・会員外は四六〇円

課題2 (初段格以下)

成東の停車場をおりて、町形をした家並みを出ると、なつかしい故郷の村が目の前に見える。

(伊藤左千夫『紅黄録』)